

# 第18回 創造ものづくり教育フェア in えちご

## 創造アイデアロボットコンテスト 実施要項

- 1 目的 ○中学校技術・家庭科で学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行ない、その成果の発表の場とすると共に、知識や技能の向上を図る。  
○コンテストはひとつの授業の場として、参加者が互いの工夫点や機能性・構造等を学びあえるようにする。また、ものづくりに取り組んできた全国の中学生の交流の場とする。  
「得点至上主義に走らず、発想や製作技術・努力を評価し合おう！」

- 2 日程 平成30年11月3日(土)  
8:20 開場  
8:30 受付、車検開始  
9:20 開会式  
9:35 ルール確認  
10:20 競技開始 (予選リーグ)  
13:00 (決勝リーグ)  
16:20 閉会式、表彰式、関東甲信越大会出場者発表

- 3 会場 長岡市北部体育館 長岡市東蔵王2丁目2番72号  
(TEL:0258-24-6116)

- 4 交通 北陸自動車道 中之島ICから約20分 ※大型バスの利用も可能です。

### 5 開催部門

#### ◇基礎部門<BASIC DIVISION 2018>

- 中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で製作できる機構を有したロボットによる1対1の対戦形式の部門。
- 1チーム、生徒最大4名で構成。競技に参加できるのは2名までとし、それ以外の生徒は操作エリアに入ることができない。

#### ◇活用部門<Pile up a block>

- 中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能を活用した基礎部門より高度なロボットによる1対1の対戦形式。
- 1チームは生徒1名から4名で構成。競技エリアへの参加は2名までとし、1名を操縦者、1名をアシスタントとする。

#### ◇応用部門<復興への願い>

- 中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能を最大限に発揮して製作されたロボットによる1対1の対戦形式の部門。
- 1チーム最大6名で構成。競技に参加できるのは4名までとし、そのうち2名までを操縦者、2名までをアシスタントとする。

#### ◇動画部門

- 技術・家庭科の両分野の学習の成果をまとめ、2分間の動画として発表する部門。

☆内容、ルール詳細は「全日本技術家庭科研究会」のルールに準ずる。

Web ページ参照 <http://ajgika.ne.jp/~robo/>

- 6 参加費 基礎部門、活用部門、応用部門は1チーム500円とする。  
参加費は、当日会場にて受付時にチーム代表者が支払うものとする。  
動画部門は参加無料とする。

- 7 表彰 各部門4チームを表彰する。(優勝, 準優勝, 技術賞, 敢闘賞)  
※入賞4チームには関東甲信越地区大会への出場権が与えられる。  
なお, 映像部門は関東甲信越大会への出場枠が5チーム分あるため,  
入賞チームの他に審査員推薦によって出場チームを決定する。

## 8 申込期限

メールと書類送付の両方で申し込むこと。

○書類入手先: 新潟県技術・家庭科研究会HP <http://niigata-gika.jp/>

○メール、書類送付: 平成30年10月12日(金)まで

【エントリー用紙と参加応募書】

※メールの件名は「ロボコン県大会申込み(中学校名)」

※映像部門は上記申し込みの後、11月1日(木)までにインターネット上の動画投稿サイトにアップする。

動画のアップ方法については、「全日本技術・家庭科研究会」のHPページを参照。

<http://ajgika.ne.jp/~robo/>

## 9 申し込み先、大会についての問い合わせ先

長岡市立東北中学校 小林 真季子

〒940-0864 新潟県長岡市川崎5丁目485番地の1

メールアドレス [j06tohoku@kome100.ne.jp](mailto:j06tohoku@kome100.ne.jp)

TEL 0258-35-2715 FAX 0258-35-1727

## 10 連絡事項

- 体育館のフロアで試合をしますので、内履きを用意してください。
- ロボットの整備、分解、組み立ては指定された場所をお願いします。
- 体育館のフロアに油分が付くことのないようにご配慮をお願いします。
- 体育館でハンダごてが使えるのは、指定されたベニア板の上だけです。また、ハンダごてとハンダは個人で用意してください。
- 飲食は体育館のフロアではできません。2階を利用してください。
- 不要品の持ち込み、各学校のルールやマナーに反する行動がないようにお願いします。
- 服装は「制服」で参加してください。

## 11 その他

- 会場準備、競技の進行、審判は研究会のメンバー(中学校職員)が行う。
- 審査員は直接利害のない方々にお願いする。(指導主事、上級学校教師など)  
(エントリー数によっては予選、決勝の試合形式は変更の可能性がある)